

平成 2 8 年度

平成 2 9 年志摩市消防出初式 実施要領

(平成 2 8 年 1 2 月 1 6 日 現在)

■ 事業名	平成 2 9 年志摩市消防出初式
■ 実施体制	主 催 / 志摩市、志摩市消防団、志摩広域消防組合
■ と き	平成 2 9 年 1 月 4 日 (水) 式 典 / 午前 1 0 時 0 0 分 から 午前 1 1 時 0 0 分 まで 一斉放水 / 午前 1 1 時 3 0 分 から 正午まで 雨天中止
■ と こ ろ	式 典 / 志摩市阿児アリーナ ベイホール 一斉放水 / 神明漁港
■ 出席予定関係団体	志摩市、志摩市消防団、志摩広域消防組合、志摩市議会、志勢防火協会連 合会、三重県、三重県議会、三重県消防協会、鳥羽警察署、鳥羽海上保安 部 他
■ 中止する場合	下記の事案が発生した場合は原則中止とする。 警報等が発表され、災害対策本部が設置された場合。 火災が発生した場合。 その他消防団の出動を要する事案が発生した場合。 <u>放水は雨天中止とし、午前 8 時に決定する。</u>
■ 事務局	志摩市 総務部 地域防災室 担当 : 坂井、矢倉 〒517-0592 志摩市阿児町鵜方3098-22 (TEL) 0599-44-0203 (FAX) 0599-44-5252 (E-mail) chiikibosaishitsu@city.shima.lg.jp

平成 29 年志摩市消防出初式

式典

■ と き	平成 29 年 1 月 4 日（水） 集合時間 / 午前 9 時 30 分 式典時間 / 午前 10 時 00 分 から 午前 11 時 00 分 まで
■ と こ ろ	志摩市阿児アリーナ ベイホール
■ 出席予定者	別紙のとおり
■ 礼 式	屋外礼式
■ 式 次 第	開式のことば 国旗に対する敬礼 団旗に対する敬礼 団長に対する敬礼 市長に対する敬礼 団長人員報告 表彰 三重県消防協会長表彰（功績章、精勤章、表彰徽章） 市長訓辞 来賓祝辞 団長答辞 市長に対する敬礼 団長に対する敬礼 団旗に対する敬礼 国旗に対する敬礼 閉式のことば
■ 消防団の参加人員	120 名（予定）
□ 参 加 対 象	団長、副団長（方面隊長）、本部部長、各方面隊被表彰者以外に 10 名、 受章者、表彰状盆係
□ 服 装	団 本 部 / 式服、制帽、黒短靴、手袋 分団長以下 / 活動服、アポロキャップ、運動靴 手袋は市が準備
□ 留 意 事 項	受章者が出席できない場合は、代理を立てる。 随行の分団長・支団長が出席できない場合は代理を立てる。

■ 役割分担

指揮者 / 1 名 河 原 副団長（方面隊長）
旗 手 / 1 名 小 川 副団長（方面隊長）

■ 表彰要領

□ 受 章 者

章毎にすべての受章者氏名を読み上げる。
受章者はその場に起立してから返事をする。
代表受領者が登壇し受領する。

□ 代表受領者

55 名（別紙のとおり）
三重県消防協会長表彰 / 功績章
1 人ずつ受領（大王方面隊・浜島方面隊）

三重県消防協会長表彰 / 精勤章

阿 児 方面隊

三重県消防協会長表彰 / 表彰徽章

志 摩 方面隊

□ 留 意 事 項

代表受領者は通路側前列へ着席する。

□ 表彰状盆係

志摩方面隊特消分団（女性団員） 2 名 式服着用

■ 留 意 事 項

式典参加者（消防団員）は全車第 2 駐車場へ駐車する。

方面隊長の席に「分団長以下用の手袋」「人員報告用紙」「配布資料」を置いておく。

各方面隊の最右翼に位置する団員は番号を言う。

式典終了後、受章者が属する分団長・支団長はロビーで表彰状等を受取る。

■ 地域防災室スタッフ

6 名（平井、山本、坂井、池田、岡田、矢倉）

池 田は式典受付終了後、放水会場へ移動。

■ 備 考

市長の服装は式服。

各方面隊は被表彰者以外に 10 名出席する。

人員は各方面隊会議で決定したとおり。

平成 29 年志摩市消防出初式

一斉放水

■ と き

平成 29 年 1 月 4 日（水）

集合時間 / 午前 9 時 00 分

放水時間 / 午前 11 時 30 分 から 正 午 まで

■ と こ ろ

神明漁港

■ スケジュール

09:00～11:00 消防団員集合、放水準備（機械器具確認）
 11:00～11:20 適宜リハーサル
 11:25 放水スタンバイ
 11:30～11:35 一斉放水（5 分間）
 11:35～11:45 市長・団長講評
 11:45～12:00 撤収、解散

■ 消防団の参加人員

- 参加対象
- 放水要員
- 服装

45 名（予定）

団長、副団長（方面隊長）、本部部長、放水担当分団

1 方面隊あたり 1 個分団 6 名 [30 名] ← 前回からの変更点

団本部 / 式服、制帽、黒短靴、手袋

放水要員 / 活動服、ヘルメット、長靴、防火服、ライフジャケット
軍手は市が準備

■ 放水要領

- 可搬ポンプ数
- 放水線数
- 放水時間
- 送水圧
- 必要備品
- 留意事項

可搬ポンプで海水を汲み上げ、分岐器使用による 2 線放水。

5 台・タンク車 1 台（志摩消防署）

12 線

約 5 分間

0.5 Mpa

可搬ポンプ、吸水管、吸管枕木、分岐器、ホース（2 本）、筒先（2 本）
特小無線（トランシーバー【チャンネル L-01 に統一】）

可搬ポンプ設置位置は、番号表示を含め事前に位置を示す。

■ 役割分担

放水指揮者 / 2 名 岡 野 ・ 山 際 本部部長

放水会場での指揮は終了まで放水指揮者が行う。

■ 協 力

志摩広域消防組合 志摩消防署

■ 地域防災室スタッフ

1 名（池田）

平井、坂井、矢倉は式典終了後合流。

■ 備 考

雨天により中止する場合は、午前 8 時に決定し方面隊長へ伝える。また、式典会場でアナウンスを入れる。